

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
東京新聞杯	別定	GIII	東京	芝1600m	良想定	瞬発	中荒れ	E

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	ダイワキャグニー	内田博	キングカメハメハ	キングマンボ	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	58	C	D	D	C	D	D	6	消	14
2	サトノウィザード	鮫島良	ロードカナロア	キングマンボ	アグネスタキオン	サンデーサイレンス	56	B	A	B	B	D	C	4	△1	9
3	ロードマイウェイ	横山武	ジャスタウェイ	サンデーサイレンス	ジャングルポケット	トニービン	57	C	C	C	C	D	D	10	△3	12
4	カテドラル	田辺	ハーツクライ	サンデーサイレンス	Rock of Gibraltar	デインヒル	56	C	C	D	B	D	D	12	消	2
5	トライン	横山典	ディーブインバクト	ディーブインバクト	Kingmambo	キングマンボ	56	C	B	C	A	D	C	8	△2	5
6	プロディガルサン	藤岡佑	ディーブインバクト	ディーブインバクト	Storm Cat	ストームキャット	56	D	B	C	A	D	D	14	消	10
7	ショウナンライズ	大野	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	Rahy	ブラッシン'グ'ルーム	56	E	C	C	C	D	E	16	消	15
8	ニシノデージー	勝浦	ハービンジャー	デインヒル	アグネスタキオン	サンデーサイレンス	56	C	D	D	D	E	E	13	消	13
9	サトノアーサー	坂井	ディーブインバクト	ディーブインバクト	Redoute's Choice	デインヒル	57	D	C	C	A	D	D	11	消	8
10	カラテ	菅原明	トゥザグローリー	キングマンボ	フレンチデビューティ	ゲイストリジェント	56	C	D	D	D	D	D	5	消	1
11	シャドウディーヴァ	岩田康	ハーツクライ	サンデーサイレンス	Dansili	デインヒル	54	C	B	C	B	C	C	3	▲	3
12	トリブルエース	ルメール	Shamardal	ストームキャット	Sunday Silence	サンデーサイレンス	56	C	D	D	D	D	D	2	消	7
13	ヴァンドギャルド	福永	ディーブインバクト	ディーブインバクト	Motivator	サドラーズウェルズ	57	A	B	C	B	C	B	1	○	4
14	エントシャイデン	川須	ディーブインバクト	ディーブインバクト	サクラバクシンオー	プリンスリーギフト	56	C	B	B	A	A	B	7	◎	11
15	エメラルファイト	石川	クロフネ	ゲイストリジェント	スペシャルウィーク	サンデーサイレンス	56	E	D	D	C	E	E	15	消	16
16	サトノインブレッサ	戸崎	ディーブインバクト	ディーブインバクト	Sahm	ミスタービター	56	C	D	D	B	E	E	9	消	6

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
東京新聞杯は道中スピードがそこまで問われない中距離チックなぬるま湯レースになりがち。今年のメンバーを見てもまず速いペースでのガチンコのマイラー決定戦になるとは思えず、スローペース必至の展開で前目の位置が取れて、なおかつそこから速い上がりでまとめられる馬が圧倒的に有利になると見ます。
本命は後追いになるリスクはあるとしても、正直◎ エントシャイデン 以外買いたい馬がない。前走は馬場を読んだ鞍上の奇策がハマった感じだが、本来のこの馬及び血統の良さが活きたレースだった感じではなさそう。やはりこの血統らしく溜めて決め手を活かした方が良さそうで、今回はメンバーを考えても前目の位置は取りそうだが逃げることはなさそう。どう考えてもスロー(超スローか)濃厚のメンバー構成ですし、前目につけて速い上がりを使えそうとなれば有力。
REVIEW
非常に微妙なメンバーレベルだった上に肝心のヴァンドギャルドが仕上がりが不足でロクな馬がほとんどいなかった感じ。そんなメンバーでダイワキャグニーが逃げる展開となったが、中盤が緩まない上にラスト3ハロン地点が最速ラップになるという東京新聞杯にしては非常に珍しい展開に。相手が弱かった上に極端にキレが問われない展開になり、持続力型のカラテが重賞勝ちとなった。

※文字色の意味 2021/2/7

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

コース特徴
コーナー部分で息が入らないコース形状だが、東京新聞杯は例外的に息が入る。このレースは直線の決め手勝負になる。
馬場レベル&バイアス
B=やや高速
血統傾向
中距離適性が問われるので王道クラシック血統の活躍が顕著。特にディーブインバクト産駒の成績が圧倒的。
展開
何が逃げるのかわからないメンバー構成。ダイワキャグニーが逃げそうだが、どう考えても超スローペース濃厚。前に行って速い上がりが使える馬が有利。
データなど特記事項
△10番人気下(0-0-1-58) 〇4歳(4-4-4-26) 10.5% 21.1% 31.6% 〇6歳(2-4-5-29) 5.0% 15.0% 27.5% ×7歳上(0-1-1-37) 0.0% 2.6% 5.1% ※7番人気以下は更に ×4歳馬で当日6番人気以下(0-0-0-14) ×関西馬で当日8番人気以下(0-0-0-41) ×前走重賞で10着以下で当日6番人気以下 (0-0-0-28)
危険な馬
トリブルエース=今までのレースぶりや血統背景を見ても、欧州血統のシャーマダル産駒らしくある程度上がりがかかるタフな条件でこそこのマイラーだろう。サンタクロースHは強い内容だったが、大逃げを打つ馬が出て展開がハマったのが大きかった高速馬場の東京マイルの瞬発戦ではキレ負けする。
妙味大な馬
特になし
穴馬
エントシャイデン=前走は馬場を読んだ鞍上の奇策がハマった感じだが、本来のこの馬及び血統の良さが活きたレースだった感じではなさそう。やはりこの血統らしく溜めて決め手を活かした方が良さそうで、前目につけて速い上がりを使えそうとなれば有力。
想定時計
1:33:0
上3F
35.8
下3F
33.4
想定ラップタイム
12.6 -11.5 -11.7 -12.0 -11.8 -11.1 -10.8 -11.5

Copyright (C) 2014 - KAZ
AllRightsReserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

枠番	名前	騎手	印	総合評価	想定人気	PREVIEW	結果	REVIEW
1	ダイウキャグニー	内田博	消	D	6	以前は先行して速い上がりも使える馬だったが、年を経ることにスタミナ型に変化していつている感じ。最後に33秒台上の上がりを使ったのは2019年のオクトーパースになりますし、今となってはマイル戦も距離不足で高速馬場も厳しいだろう。前に行けたとしてもキレ負けして終わる。	14	積極的にハナを切っていたが、早々に脱落。現状のこの馬には高速馬場のマイル戦ではスピード不足。昨年同様にエプソムカップが遠慮にでもなればチャンスがありそう。
2	サトノウィザード	鮫島良	△1	C	4	もしルメールがトリプルエースではなくこの馬に乗っていたらこの馬が2番人気だったはず。今までのレース内容や決め手を見てもこの条件は合うはずで、重賞制覇の大チャンス。ただ、鮫島良太騎手が乗ってからは大出遅れを繰り返していますし、どうせこの騎手となると後方からの外ぶん回ししかないだろう。騎手で人気を落とすだろうが、そのファンの判断は正しいと思う。	9	いつも通りにスタートで出遅れ。そこから今の馬場で大外ぶん回しで上位に来れるはずがない。出世していくなら一刻も早くこの騎手をおろした方がいい。
3	ロードマイウェイ	横山武	△3	D	10	近走内容を見てもスタートこそまともに出るようにはなったが、テンに遅いので流れに乗るまでに時間はかかるはず。それでも横山武史騎手な位置を取ってきそうだが、キャピタルSは展開がドンビシャでハマった感じでそこまでスバツとキレル馬ではない。極限の瞬発力勝負になりそう今回は厳しいんじゃないだろうか。	12	後方に下げて外を回す競馬ではどうしようもない。マイルはベストだと思うが、高速決着では現状厳しいんじゃないだろうか。
4	カテドラル	田辺	消	D	12	とにかく前半部分でじっくりと脚を溜めて後半の末脚勝負に徹してこそ良さが出る馬。NHKマイルカップや3歳時のマイルCSはその戦法で上位に走れていますし、型さえ破らなければそこそこはやれるはず。ただ、前走で前付けてダメだった事から今回はいつも通りの後方待機策を取ること。どう考えても高速馬場のスロー戦で展開は向かない感じがします。	2	じっくり溜める競馬で最後は見せ場十分に進み込めた。やはりこういう競馬が合う馬なんだろう。ただ、今回はメンバーレベルの低さに恵まれたか。
5	トライン	横山典	△2	C	8	折り合いが非常に難しい馬で、とにかく前半部分でしっかり折り合うことができれば最後は鬼脚を使うことができる馬。今までのレース内容を見ても自身の能力を発揮できればここでも通用していいはずで、あとは折り合うことができるかが全て。折り合い重視となると後方から行きそうな点がネックだが、そこは天才横山典弘。意外性のある騎乗でこういう馬を倒してやるかも。	5	やはり先行馬がいなかったと見た横山騎手は位置を取りに行った。ただ、この馬はこういう競馬をすると爆発的な末脚が使えないというのは難しいところ。
6	プロディガルサン	藤岡佑	消	D	14	近走を見ても衰えがある一方でマイル戦ではそれなりに走れている。それでもキレはなくなっている感じで、上がり33秒台を使ったのは2019年が最後。今回は明け8歳の休み明けになりますし、さすがに厳しいだろう。	10	じっくりと後方で溜めて最速上がり記録。メンバーレベルが低かったとはいえ、マイルならばまだこれぐらいはやれるという感じ。
7	ショウナンライズ	大野	消	E	16	近走内容を見ても衰えは顕著な感じ。前走を見ても行き足つかずに後方からになっており、今回のメンバーでスローペース戦でも前に行けるかは怪しい感じ。	15	位置も取れずで何もできずに終了。もう終わってしまった馬という感じがします。
8	ニシノデ이지ー	勝浦	消	E	13	ハービンジャー産駒にしては溜めて良さが出るタイプで、中距離戦で内枠を引いて一瞬の脚を使ってこそというタイプ。今回は高速馬場の東京マイルの瞬発戦というどう考えても合わない条件で、なおかつ休み明け。消極的な騎乗が目立つ勝浦騎手で初のマイル戦となれば脚を測って適正を確かめるような競馬になるはずで、もし適性があっても届かないだろう。	13	こんな条件ではスピード負けするのも当然。中距離戦で内枠を引いて一瞬の脚を使えるような時に爆発を開ける可能性は覚えておきたい。
9	サトノアーサー	坂井	消	D	11	関屋記念の激走はベストの平坦コースでキャリア最後の一撃がハマったような感じ。近2戦を見ても衰えがありそうですし、今回は前走で出ていって何もできなかった事から出たなりの差し競馬をする模様。展開的にも向かないとなると厳しいんじゃないだろうか。	8	能力が衰えていたこの馬でも8着に来れるぐらいのレースレベルだったということか。時計がある程度かかるマイルのオープン戦なら、、、という感じ。
10	カラテ	菅原明	消	D	5	連勝の実績通りにここに来て力をつけてきたのは間違いないはずで、前走時計は中山マイルにしてはかなり優秀なもの。ただ、血統イメージ通りにキレない持続力型のマイラーで、高速馬場の東京マイルはいかにも合わないはず。東京新聞杯はスローからの瞬発戦になりやすいですし、菅原騎手がそれをわかって自分で逃げて後続に脚を使わせるぐらいじゃないと厳しいはず。	1	連勝していた通りで勢いはダテではなかった。今回は相手に恵まれて、なおかつ決め手が問われないラップになったのが良かった。ただ、得意とは思えない条件で勝利した点は素直に評価。
11	シャドウディーヴァ	岩田康	▲	C	3	もう競馬ファン誰もが知っている左回り巧者。ベスト条件は東京芝2000mあたりではなく、本質的にマイル適性は高いので今回の距離は忙しいはず。ただ、東京新聞杯はスローになりやすいので中距離馬でも走れてしまう舞台で、昨年も33.3の上がりを使って2着に突っ込んできた。その昨年以上に今年は低調なメンバーレベルに見えますし、過剰人気しても上位評価でいいか。	3	決してマイル戦はベストじゃなかったが、今年のメンバーの中では能力も瞬発力も上位だった感じ。左回り戦なら安定しているがヴィクトリアマイルではスピード負けして終わりそう。
12	トリプルエース	ルメール	消	D	2	今までのレースぶりや血統背景を見ても、欧州血統のシャマーダル産駒らしくある程度上がりがかかるタフな条件でこそそのマイラーだろう。サンタクロースHは強い内容だったが、大逃げを打つ馬が出て展開がハマったのが大きかった。今回は鞍上ルメールなら展開を読んで2.3番手の位置をとってきそうだが、さすがに高速馬場の東京マイルの瞬発戦ではキレ負けする。	7	やはりルメールは位置を取りに行ったが、按群の手応えからラスト150mで失速した。距離は1400mがベストで荒れ馬場の方がいい馬だろう。
13	ヴァンドギャルド	福永	○	B	1	メンバーレベルが低いおかげで完全に押し出されての1番人気という感じ。母父サドラーズウェルズの血統を見ても本質的にキレッキレのマイラーではないですし、出遅れ癖もあるので高速馬場の瞬発戦では不安もあり。ただ、今回のメンバーでは明らかに能力上位に見えますし、鞍上も今のJRAの騎手の中で最も信頼できる福永騎手となると対抗評価が妥当か。	4	位置を取りに行って福永騎手は完璧な騎乗。それで伸びきれなかったあたり仕上がりは最悪だったか。あんまり時計の速いマイル戦も合わない感じがします。
14	エントシャイデン	川須	◎	B	7	前走は馬場を読んだ鞍上の奇策がハマった感じだが、本来のこの馬及び血統の良さが活きたレースだった感じではなさそう。やはりこの血統らしく溜めて決め手を活かした方が良さそうで、今回はメンバーを考えても前目の位置は取りそうだが逃げることはなさそう。どう考えてもスロー(超スローか)濃厚なメンバー構成ですし、前目につけて速い上がりを使えそうとなれば有力。	11	スタートで置いて終了。今回はもうその時点でレースが終わった感じで、またどこかで穴を開ける可能性は考慮しておきたい。
15	エメラルファイト	石川	消	E	15	血統的には東京マイルの持続力勝負は合いそうだが、東京新聞杯は東京マイル戦でも極端に中距離寄りの瞬発戦になりがち。最近のレースぶりを見ても明らかに終わった馬な感じがします。	16	積極策を見せてラスト200mまでは見せ場十分のレースぶり。そこから粘れなかったあたりは精神面の問題が大きい感じが。
16	サトノインブレッサ	戸崎	消	E	9	芝の中距離戦でもテンに置かれているような馬で、800mの距離短縮で大外枠となればまず位置は最後方近くになるはず。血統的にも適性は時計のかかるマイルははずで、高速馬場の東京マイルではキレ負けして終わりそう。後方でもがいて終わるんじゃないだろうか。	6	この距離でスツと位置を取れたのは驚き。やはり血統的にもマイラーなんだろう。ただ欧州血統なのでもう少し全体時計と上がりがかかるマイルじゃないと厳しいそう。